

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●津村明秀騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

4月24日(日)の2回東京2日・第7レースでタマダイヤモンドに騎乗した津村明秀騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上48人目、現役では33人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

### ●浜中俊騎手がJRA通算1100勝を達成

4月24日(日)の2回阪神10日・第11レースとして行われた読売マイラーズC(GII)ではソウルラッシュが1着となり、同馬に騎乗した浜中俊騎手(栗東・フリー)は、史上35人目、現役では17人目となるJRA通算1100勝(1万234戦目)を達成しました。

### ●飯田雄三調教師がJRA通算300勝を達成

4月24日(日)の1回福島4日・第7レースではチャーミングアクトが1着となり、同馬を管理する飯田雄三調教師(栗東)は、現役68人目となるJRA通算300勝(延べ4449頭目)を達成しました。

### ●小牧加矢太騎手がJRA初勝利をあげる

4月24日(日)の1回福島4日・第4レースではヴァーダイトが1着となり、同馬に騎乗した小牧加矢太騎手(栗東・音無秀孝厩舎)は、JRA初勝利(7戦目)をあげました。

### ●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から「ロンジンワールドベストレースホースランキング」(2022年1月1日から4月10日までに実施された世界の主要レースが対象/単位はポンド)が発表されました。日本調教馬はドバイシーマクラシックを勝ったシャフリヤールが第7位タイ(120)、同レース3着のオーソリティ、ドバイターフ1着同着のパンサラッサ、大阪杯を制したポタジェが第16位タイ(118)にランクインしています。

### ●柴田善臣騎手が『黄綬褒章』を受章

令和4年春の褒章において、柴田善臣騎手(美浦・フリー)に褒章が授与されることとなりました。中央競馬の発展ならびに畜産業の振興に多大なる貢献を果たした功績が認められたもので、「農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方」を対象とする『黄綬褒章』を受章しています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●あやめ賞(水沢)は単勝25倍のマルロットゥ【各地の主要3歳重賞】

あやめ賞(4月17日、水沢、1400<sup>米</sup>、牝馬)は、中団から差を詰めた単勝25倍で4番人気のマルロットゥ(父アンライバルド)が、先に抜け出した単勝1.1倍で圧倒的人気の金沢からの移籍馬ボサノヴァをゴール前で差し切り、初の重賞制覇を果たしています。

### ●5月5日のかしわ記念(船橋)はティエムサウスダンが有力

かしわ記念(JpnI、5月5日、船橋、1600<sup>米</sup>)は、フェブラリーS2着以来の出走となるティエムサウスダンが中心、以下前年2着のソリストサンダー、牝馬ショウナンナデシコ、インティ、昨年の覇者カジノフォンテン(船橋)、エアスピネル、サンライズノヴァの順に有力視されます。

### ●5月4日の兵庫チャンピオンシップにドライスタウトが登場

兵庫チャンピオンシップ(JpnII、3歳、5月4日、園田、1870<sup>米</sup>)は、全日本2歳優駿優勝馬ドライスタウトが筆頭格、サウジアラビア遠征帰りのコンシリエーレ、ノットゥルノ、ブリッツファンク、アイスジャイアントが続き、JRA勢同士の争いとなりそうです。

### ●ヘリオス、ラプタスが参戦、5月3日のかきつばた記念(名古屋)

かきつばた記念(JpnIII、5月3日、名古屋、1500<sup>米</sup>)は、根岸S、黒船賞と連続2着のヘリオスが最有力、このレース3連覇を目指すラプタスが続き、タガノビューティー、イグナイター(兵庫)、ピンシャン、ワイドファラオまでが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●香港でチャンピオンズデーが行われる

1日に3つのG1をまとめて行うチャンピオンズデーが現地時間4月24日に香港のシャティン競馬場で開催されました。コロナ禍にあって香港ジョッキークラブ所属馬のみで争われた今年の開催のメインレースであるG1クイーンエリザベス二世C(3歳上、芝2000<sup>米</sup>)を制したのはロマンチックウォリアー(騾4歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)。K.ティータン騎手を背に中団でレースを進めると、直線で抜群の切れ味を見せて優勝。3月の香港ダービー(芝2000<sup>米</sup>)に続く連勝で春の香港中距離王者に輝きました。そのほか、G1チェアマンズスプリントプライズ(3歳上、芝1200<sup>米</sup>)はA.パデル騎手が騎乗したウェリントン(騾5歳、父オールトゥーハード、R.ギブソン厩舎)が中団から差し切ってこのレース連覇を達成。また、G1チャンピオンズマイル(3歳上、芝1600<sup>米</sup>)ではC.ホー騎手が手綱を取ったゴールデンシックスティ(騾6歳、父メダリアドロ、K.ルイ厩舎)が中団待機から直線で鋭く伸びてこのレース連覇を果たすと同時に、総獲得賞金を1億1340万600香港<sup>元</sup>(約17億100万円/1香港<sup>元</sup>15円で換算)にまで伸ばして、香港賞金王の座に就きました(前の記録保持馬は2018、19年とチャンピオンズマイルを連覇したビューティージェネレーション)。